



この報告は、世田谷区立特別養護老人ホーム 芦花ホーム（ロカホーム）で、世田谷区歯科医師会指導の下、歯科衛生士・介護スタッフの皆様が、共働して取組んだ研究報告です。

### 研究成果「粘膜ブラシによる口腔乾燥症の改善の取り組み」

芦花ホームでの口腔機能の維持向上の取り組みの経緯は、平成21年度から、多職種共同で「健口体操」を毎日行い、その結果を数値で評価してきました。更に平成22年度からは、セラバンドを使用した呼吸リハビリも行っています。

平成24年には、口腔粘膜マッサージの実施による口腔乾燥症の改善・嚥下機能の改善に取組み、数値をもって検証し、評価をした結果、粘膜マッサージをすることにより、確実に口腔乾燥症が改善され、嚥下機能の改善に結びつきました。

平成25年には、透析患者の乾燥症改善にも取り組みました。下記に実施内容及び実施後評価を報告します。

口腔機能は、摂食・嚥下機能のみならず、

★「社会活動性」 ★「コミュニケーション能力」 ★「健康維持」など QOLの維持向上に欠かせないものです。

芦花ホームの入所者状況 (平成24年3月1日現在)	100名	平均介護度 4.21	平均年齢 86.4歳	経管栄養 14名
---------------------------	------	------------	------------	----------

**【実施内容】** 対象者は入所者より選びました。

- ① 粘膜マッサージ実施20名 未実施20名 (対象者40名の平均介護度3.9 平均年齢86.8歳)
- ② マッサージ実施時間は、食後1時間以上経過後 (唾液の分泌が多い食後を避ける為)
- ③ 検査期間は、約5ヶ月間 (平成24年3月～平成24年8月) ※3月は検査のみ
- ④ 【評価方法】 マッサージ実施20名と未実施の20名の口腔水分量を測定・比較しました。
- ⑤ マッサージには、「エラック粘膜ブラシ 510ES (ライオン歯科材 (株))」を使用しました。

実施に当たっては、事前に職員同士で練習し、職員が統一した手順で粘膜マッサージができるよう周知しました。

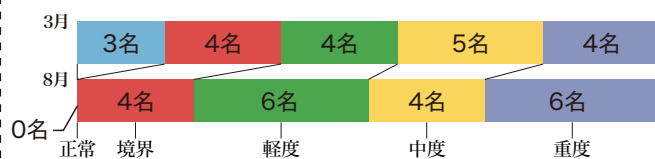
マッサージは、頬粘膜・歯茎・舌・上顎の順で実施しました。義歯を入れている方は、義歯をはずして行います。

### 【評価方法】

口腔内の保湿値を「口腔水分計ムーカス (ライフ社製)」を用いて測定し、数値化しました。測定値は2回の平均値を測定値としました。舌の先端10mm位の舌表面に垂直に当てて測定しました。ムーカスによる測定は、月末に1回測定しました。

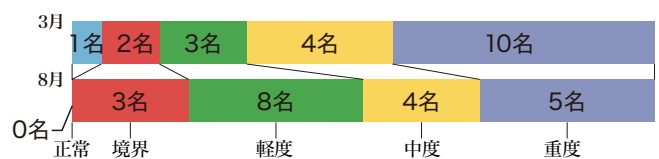
水分量目安	ほぼ正常 30%以上	境界領域 29.9%～29%	軽度乾燥 28.9%～27%
	中度乾燥 26.9%～25%	重度乾燥 25%以下	

#### 未実施 グループの検証の前後



未実施グループは、正常が減り、重度が4名から6名に、増加しました。

#### 実施 グループの検証の前後



実施グループは、重度の方が10名から5名に大幅減少し、そして軽度の方が3名→8名に増加しました。

水分量の数値実績を見ても、マッサージ実施グループと未実施グループでは明らかに数値に差が出ました。

上記の粘膜マッサージと同時期に口腔機能の測定も同時期に行いました。評価項目は、「発音の速度や明瞭度」「反復唾液嚥下テスト」です。その結果、「発音の速度や明瞭度」では大きな変化は見られませんでした。「反復唾液嚥下テスト」では、マッサージ実施の中で検査可能な10名を選び評価しました。実施前の3月には1回も嚥下できなかった方が1名でしたが、実施後の8月には嚥下できるようになり、また1分間に3回以上嚥下できた方が、5名から8名に増えました。

全体評価としては、乾燥していた口腔内が潤い、よだれがこぼれていた方は、こぼれ方が減少しました。今回は、効果の検証ができたので、嚥下機能の改善と共に、予防としてもマッサージを継続的に実施し、「口から美味しく食べる」事を支援していきたいと考えています。

